

関連項目：教育活動プラン③、④

かかわり方を身に付けることをとおして 人とつながる喜びを味わう

目的

本校の児童は、自分の意見や思いを話すことは得意ですが、相手の意見を聞いて意見を高めたり、互いを理解したりするような話し合いが苦手です。そこで、人とのかかわり方を身につけることで人とつながる喜びを味わい、楽しい学校生活を送るようにしたいと思います。

内容

● かかわり方を身につける

① 話し合い活動の充実

- ・ 学校の教育活動全てにおいて、考えをもつ・高める・まとめるという3つの段階に応じた自分の考えを伝え合う場を設定します。その際、どのような力をつけ、どのような話し合い活動を行うのか、どのような手立てをするのかを明確にしておきます。
- ・ 一番いいことを明確に短文で表現し、それを詳しく表現する練習を多くします。
- ・ 学級会・児童会・ファミリーグループでの活動において、互いのよさを認め、言葉で励まし合う場を必ず設定します。

② 安心して自分を表現

- ・ 学校の教育活動全体で、話し手を見て聞くことや自分の考えと異なる意見でも尊重できる力の育成を図ります。
- ・ 多様な生き方や人生との出会いを準備し、児童が自らの生き方を考える機会を保障します。そのために、読書活動の充実や保護者や地域の方々との交流を積極的に行います。

短文づくり



意見発表

● 人とつながる喜びを味わう

① 異学年交流活動の充実

- ・ 清掃活動・ペア給食・リクレーション活動・新入生を迎える会等を実施し、多様な場において人間関係づくりを進めます。

② 学級での一人一役

- ・ 何事もみんなで取り組み、最後まで取り組んだからやり遂げたことを知らせ、誰もが大切な仲間であることに気づかせます。こうすることで、自尊感情を育てます。

③ 教師の取組

- ・ 見つめ、よく聞き、児童の心とその背景をよく理解しようとする情熱あふれる教師づくりをします。
- ・ 全職員で、全児童を支援する姿勢を常に持ち、「報告・連絡・相談」を必ずする教師づくりをします。

ファミリーの清掃活動



ファミリーのなかよし給食

成果

こうした取組をすることで、話し合い活動が少しずつ深まり、友だちや家族・地域の人と話をすることが多くなってきていることが丸亀市のアンケート結果からうかがえます。また、根気強く相手の話を聞くこともできるようになってきました。そのため、今までより問題行動が減少してきました。しかし、小さな変容しか見られない一部の児童が存在するのも確かです。その児童たちのさらなる変容を求めて新たな実践に励みたい。